

新編岡崎市史 正誤表

第1巻 原始・古代

頁	段	行	誤	正
410		6	道知れる人	道知れる人
410		14	昔人、	みな人、
456		17	物部熙氏	物部瀬氏
457		5	物部熙氏	物部瀬氏
481	図7-33		5月8月条	5月8日条
580		4～5	『伊勢物語』	『古今集』
581		16	低温地	低湿地
655		2	寂然	寂照
701			峰野原	峰野の原
816		14	墨書土器	「驛」墨書

新編岡崎市史 正誤表

第2巻 中世

頁	段	行	誤	正
358		14	平治の乱	保元の乱
564		14	平治の乱	保元の乱

新編岡崎市史 正誤表

第3巻 近世

頁	段	行	誤	正
37	図1-9		丸に立菱	丸に立葵
340 -342			光願寺	光顔寺
1391		15	志賀控堂	志賀慥堂
1391		15	控堂	慥堂

新編岡崎市史 正誤表

第4巻 近代

頁	段	行	誤	正
363		14	新渡部稲造	新渡戸稲造
372		6	一九一一(明治四四)年	一九二二(大正一一)年
392		12	設立されてし、	設立されているし、
392		13	九〇いる年二月に	九〇年二月に
410		11	一九四七(昭和二二)年	一九七一(昭和四六)年
410		12	三番目	六番目
410	表IV-7		竣工式	竣功式
411		2～3	一九一九(大正八)年	一九二〇(大正九)年
412		5	一九〇八(明治四一)年	一九〇七(明治四〇)年
416		6	木津九藏	木津鈺藏
522		8	常磐館	常盤館
525	図IV-20		村正氏	吉村正氏
916		12	常磐館	常盤館
926		5	八帖	八丁
926		6	ですから	ですからね
926		7	それは	それ
926		10	来たらしい	来たものらしい
936		7	一九一九(大正八)年	一九二〇(大正九)年
936		13	竣工式	竣功式
936		15	二万五六六二冊	二万五六六五冊
937		4～5	愛知図書館	名古屋西図書館
937		15	一九二〇(大正九年)	一九二一(大正一〇)年

940		1	せねばならぬとせめ立てられる心地がする』	せねばならぬ』とせめ立てられる心地がする
940		8	大藤慎太郎	大藤鎮太郎
945		10	河合玉堂	川合玉堂
951		15・16	集まり	集り
952		1	最高の…集りである。	全身的に愛し合ひ援け合はうそして我々ははつきりと敵を憎みこれと闘ふ事を辞してはならぬ。
952		2	思慮することなく	思慮する事なく
952		4	運ばれてゆく	運ばれゆく
952		5	建設せむもの	建設せむ
952		7	実に多い。	実に多い
952		10	若し	もし
952		11	懲憑処罰し或は、	懲憑し警告し処罰し或は
952		11	集り	集りが
952		13	四月	五月
954		4	合わせて	合せて
1064		5	くろやなぎ み お 畔柳治三雄	くろやなぎ さ お 畔柳治三雄
1066		5・11	安藤春雄	安藤春夫
1178		14	作詞・作曲	作歌
1277		11	浅井	浅岡

新編岡崎市史 正誤表

第5巻 現代

頁	段	行	誤	正
17		2	肉身	肉親
183		11	生活娯楽	生活・娯楽
183		12	民主部	民生部
257		12	一・五倍	一・七倍
257		13	一〇年間に	一五年間に
306		11～12	二五〇〇冊	一〇〇〇冊
308		8	約四億円	約二億円
308		10	中学生・	「中学生・」を取る
308		11	ラウンジグループ	ブラウジンググループ
343		10	サービス	サービス業
344		1	サービス	サービス業
435		6	三二者	三二社
439		3	一五人	一七人
439		16	三社	二社
469		15	表2-32	表2-31
539		15～16	市立が一九と	市立が一八と
629	表3-14		『岡崎広域商業診断書』	『岡崎市広域商業診断書』
630		5	大型店影響調査	『大型店影響調査』
818		15	中学生室・	「中学生室・」を取る
818		17	表3-79	表3-79、図3-98
819	表3-79 総記		12,284	13,284

820		1～2	市内周辺部二五学区	市内周辺部二五学区(昭和五〇年 開始時)
878		8	扇風器	扇風機
880		4	手をさし述べる	手をさし伸べる

新編岡崎市史 正誤表

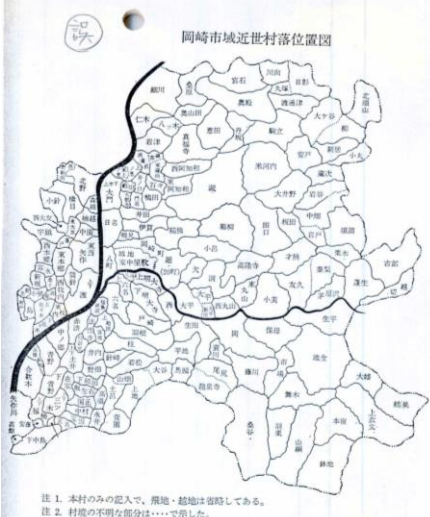
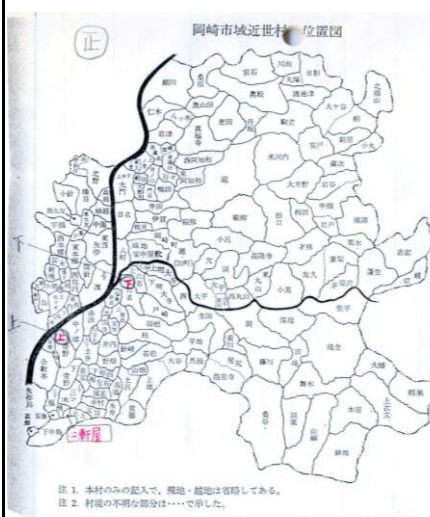
第7巻 史料 近世上

頁	段	行	誤	正
ii		5	併列点	並列点
ii		13	瓜印……………(瓜印)	爪印……………(爪印)
vii		1	(七通)	(六通)
x ii		9	大庄屋格・庄屋格名分覚帳	大庄屋格・庄屋格名前覚帳
x ii		14	(四通)	(四点)
x ii		14	文政八年	文政五年
x v		5	龍溪院領	龍溪院領
x v		7	柴用知行所丸山村	柴田知行所丸山村
6	上	8	延宝頃	延宝頃
8	上	2	大田銀蔵氏	太田銀蔵氏
8	上	3	大田家	太田家
9	上	22	控である、投町の	控である。投町の
10	上	17~18	一〇二年後	一〇三年後
11	下	12	特に、(口)は年を	特に、(イ)は年を
11	下	19	天保一五年(一八四三)	天保一五年(一八四四)
16	上	14	詫証文控である、客を	詫証文控である。客を
16	上	17	大田銀蔵氏	太田銀蔵氏
16	上	19	大田理左衛門	太田理左衛門
16	下	22	(イ)~(ト)	(イ)~(ヘ)
17	上	10	(ト)	(ヘ)
21	上	20	大宿二三	大宿二四
21	上	20	中宿三四	中宿三五

21	上	20	壱人宿二三	壱人宿二一
22	下	20	綜合郷土研究所紀要『第二〇輯』)。	綜合郷土研究所紀要『第二〇輯』)。
23	下	5	市内百々町清水仙吉氏	市内百々町清水仙治氏
24	下	10	寛政一〇年(一七九七)	寛政一〇年(一七九八)
47	上	2	一同九年大坂乱	(十脱) 一同九年大坂乱
58	上	12	元録五壬申年	(禄) 元録五壬申年
93	上	7	諸堂社其外大被	諸堂社其外大破
110	上	7	一錢拾貳貫七百九文	一錢拾貳貫七百廿文
110	上	13	(ママ) 五月十二日 方 十四日迄三日肆	「(ママ)」を取る
249	下	12	女房=貫申度内談相整差出シ	女房=貫申度内談相整差遣シ
250	上	6	夫同宗当時旦那	夫同宗当寺旦那
250	上	7	自今以後当時旦那	自今以後当寺旦那
250	下	2	親類御請=罷立候	親類御請=罷在候
250	下	7	宗定村祐泉寺	宗定村祐専寺
250	下	13	庄屋衆中	御庄屋衆中
292	上	9	(七通)	(六通)
295	下	3	(ト)	(ヘ)
308	下	7	右酉 方 左戌迄	右酉 方 左戌迄
390	上	16	件吉	伴吉
410	上	14	大駒屋良助	○大駒屋良助
410	下	2	扇屋惣次郎	○扇屋惣次郎
410	下	15	永田屋丈吉	△永田屋丈吉
411	下	12	(委脱)	(季脱)
459	上	12	額田郡	額田筋
485	上	12	右 翌栗村	右 羽栗村

486	上	9～10	無札・	無札・
510	上	22	成瀬林右衛門氏	成瀬林右工門氏
511	下	3	酒井茂氏所蔵	山本肇氏所蔵
525	上	17～18	売渡証の場合ある。	売渡証文である。
525	上	18～19	多地目文で合、	多地目の場合、
527	下	22	内藤精一氏	内藤清一氏
529	上	14	桑原町龍溪院	桑原町龍溪院
530	下	5	六一～七二)	六一～七三)
530	下	8	一～八三)	一～八四)
530	下	21	享保期(一七一六～三五)	享保期(一七一六～三六)
533	上	3	寛政八年(一七九八)	寛政八年(一七九六)
534	上	5	駿州・豆州・相州より	駿州・豆州より
536	下	5	谷口澄夫先生古稀記念論文集	谷口澄夫先生古稀記念事業会編
538	上	8	一二ヵ月	一、二ヵ月
573	下	9	恩阿院	忍阿院
575	上	3	王泉院	(玉) 王泉院
575	下	4	深尾岩尾	(見) 深尾岩尾
596	下	3	(右脱) 前川美濃部五衛門	(ママ) (右脱) 前川美濃部五衛門
609	上	4	難木林	雜木林
612	上	2	難木林	雜木林
612	下	4	一糖藁	(糠) 一糖藁
618	下	3	白小川通右同断 一堤長三百八拾間	向小川通右同断 一堤長三百八拾間
619	下	9	反別拾三町九反五畝	此反別拾三町九反五畝
621	上	10	細川武蔵守御城跡	細川武蔵守様御城跡
626	下	13	犬御年貢地	尤御年貢地
627	上	16	糖	(糠) 糖

639	下	17	訪諏大明神	(ママ) 訪諏大明神
647	下	8	木樵并芋細工	木樵并芋細工
670	下	13	「安政五年午七月山手永御用日記」	「安政五年午七月山方手永御用日記」
726	下	14	掛ナらし	掛ならし
726	下	15	国役割金	国役割合
727	上	10	殿様御暮し方御掟定之時 江戸雑用割	殿様御暮し方御掟定之時 江戸路用割
728	下	15	糯米分之割	糯米カシ割
729	上	1	(四通)	(四点)
729	上	1	文政八年	文政五年
729	上	5	当午正月ノ年壺割之利下ニ	当午正月ノ年壺割ニ利下ニ
729	上	5	信楽御役所へ相納	信楽御役所江相納
729	上	7	当午正月ノ年壺割之利下ニ	当午正月ノ年壺割ニ利下ニ
729	上	7	年十二月十日限元利共信楽御役所へ	年十二月十日限元利共信楽御役所江
729	上	15	此度格別之儀を以	此度格別之儀ヲ以
729	下	8	仮内外如何	縦内外如何
729	下	9	急度為相納候様	急度為相納候之様
729	下	11	勝手次第御呼出	御勝手次第御呼出
730	上	5	年壺割ニ利下ニ被成	年壺割ニ利下ニ相成
730	上	9	地頭所へ	地頭所江
730	上	10	年々約月ニ至り	年々期月ニ至り
730	上	13	当年無遅滞	(者力) 当年口無遅滞
730	下	1	差上申処	差上申所
731	上	1	多羅尾勒負様	多羅尾勒負様
731	上	4	約月之通	期月之通
731	上	16	但五ヶ年平均直相場	但五ヶ年平均所相場

731	下	2	此収納金……百六拾六文六分五厘	此金収納金……百六拾六文六分七厘
732	上	1	但五ヶ年平均直相場	但五ヶ年平均所相場
732	上	3	此収納金	此金収納金
732	上	4	内貳拾両	内金貳拾両
732	上	11~12	(追加)	(「御貸附金借用証文」ヨリ抄録)
852	上	1	内 三軒 潰家 七軒 嫁	内 三軒 潰 七軒 孀
854	下	12	龍溪院	龍溪院
861	下	6	無理非方	(法) 無理非方
869	下	17	宿なし雪助類	(雲) 宿なし雪助類
1020	下	8	為其瓜印仕	為其爪印仕
1020	下	10~12	(瓜印)	(爪印)
1022	上	3	為其瓜印仕一札	為其爪印仕一札
1022	上	7~17	(瓜印)	(爪印)
1022	下	1~2	(瓜印)	(爪印)
1030			 岡崎市域近世村落位置図 注 1. 本村のみの記入で、荒地・越地は省略してある。 注 2. 村境の不明な部分は……で示した。	 岡崎市域近世村落位置図 注 1. 本村のみの記入で、荒地・越地は省略してある。 注 2. 村境の不明な部分は……で示した。
1031		2	岡崎藩領石高一変遷覧	岡崎藩領石高変遷一覽
1032		1	石高・領主	領主・石高
1050	〈額田郡〉 表	1	水多忠利	本多忠利

新編岡崎市史 正誤表

第8巻 史料 近世下

頁	段	行	誤	正
口絵二			天明11年	天保11年
3	下	9	松平(宝暦一二年～	松平(宝暦一三年～
349	下	14	同廿五本 結六束 井ノ口村	(ママ) 同 廿五本 結六束 井ノ口村
669	下	22	現安城市柿碕町	現安城市柿碕(石へんに奇)町
672	下	15	坂左右田村	坂左右村
673	上	17	池端村(現岡崎市大和町)	池端村(現岡崎市昭和町)
1097	上	1	正徳元年卯辛十二月四日	正徳元年辛卯十二月四日
1214	下	17	辰四月	辰正月
1267	上	11	服部国男	服部國男

新編岡崎市史 正誤表

第11巻 史料 現代

頁	段	行	誤	正
403		8	日本タッパウェアー	日本タッパーウェア
432		30	日本タッパウェア	日本タッパーウェア
434	表	18～19	工場名 日本セキリー	日本セキソー
434	表	39～40	工場名 日本タッパウェア	日本タッパーウェア
478	表	4	メーカー別登録台数推移(除四輪駆動車) メーカー 日産	日野
483	表下		日本のクライスラー乗用車輸入台数 注(1) 74年より沖縄県を含む	注(1) 昭和49年より沖縄県を含む
492	表	2	社宅・寮入居人員 社宅 竜美が立	竜美が丘
519	表下		全国建築石材工業界会報	全国建築石材工業会報
552	表	11	資本金 180,000	234,000
553	表	21	業種及び主生産品目 ガスライター, 自動車メーター, 豊水器	ガスメーター, 自動車メーター, 量水器
564		4	名鉄百貨店	名鉄百貨店
570	表	56	区分 キャベレーナイトクラブ	キャバレーナイトクラブ
571		21	松阪屋岡崎店	松坂屋岡崎店
572	表	7	愛知県主要都市における商業構成の変化(2) 昭和29年/(割合)% 43.4	45.4
580		5	これに卸売業が32.8%でつづく, この当時	これに卸売業が33.1%でつづく。この当時
581		3	887,568万円	885,962百万円
581		3	760,958万円	760,958百万円
581		3	85.7%	85.9%
602		4	僅か2店舗づつ	僅か2店舗ずつ
610		10～11	愛后学区	愛宕学区
612		1～2	根石(14件)だけでなく、…羽根(14件)	根石(19件)だけでなく、…羽根(16件)
612		4	愛后学区	愛宕学区
612		10	まだ	また

613		6	*この業種分類は、P. 614, 615における凡例である	*この業種分類は、P. 638, 639における凡例である
615		4	チェーンストア	チェーンストア
629	買物調査における商品の購入場所(1) 表下		* 地区名はP. 688を参照	* 地区名はP. 628を参照
629		3	購客	顧客
632	買物調査における購入意志の事前決定と店頭決定(1) 表下		* 地区名はP. 688を参照	* 地区名はP. 628を参照
634	買物調査におけるブランドにおける商品の選択(1) 表下		* 地区名はP. 688を参照	* 地区名はP. 628を参照
637		2	少しづつ	少しずつ
637		6	2件づつ	2件ずつ
639		1～2	多く購客	多く顧客
639		5・8	身辺細貨	身辺雑貨
641		18	昭和40年代と比べれると、	昭和40年代と比べると、
641		19	松阪屋レオ	松坂屋レオ
642	表	4	ナショナルスーパー/名称 ユニ刈谷銀座店	ユニー刈谷銀座店
644		5	松阪屋	松坂屋
691		7	三菱自動車工業の以来	三菱自動車工業の創業以来
691		9	額は40億円	額は460億円
703		8～9	民間の中高層、住宅	民間の中・高層住宅
703		13	中高層、住宅	中・高層住宅
732			常盤田口	常磐田口
734	表	最下段	観測地点 額田郡常盤村	額田郡常磐村
746		10	福岡・常盤・河合	福岡・常磐・河合
746		24	常盤電話交換局	常磐電話交換局
747		9	常盤東部地集局	常磐東部地集局
755	表下		岡崎市職業安定所資料	岡崎職業安定所資料
760		3	暫増傾向	漸増傾向
764		18	実に5,458円の格差	実に54,580円の格差

768		7	僅かづつ延長	僅かずつ延長
804	表	19	〒住所 岡崎市久後時町	岡崎市久後崎町
806	表	22	組合名 合成労連化学一般	合化労連化学一般
809	表	12	組合員数 477	486
904	表	13	岡崎 柱町綿績神社	柱町綿積神社
925	表	2	施設名 研摩機	研磨機
1038	頁		3038	1038)
1045		2	ロッシーニ セルビアの理髪師序曲	(1044頁のグリークとワグナーの間へ)
1045		4	森田章平	森田草平
1045		5	森田章平	森田草平
1045		25	8月18日(日)	8月18日(日) レコードコンサート
1046		4	帰れソレントへ	帰れソルレントへ
1046		11	// 未完成	未完成 交響曲
1047		12	居ます	居ります
1049		11	社会学並に	社会科学並に
1050		2	O. p74	OP. 74
1050		3	O. P488	OP. 488
1050		4	O. P93	OP. 93
1057		3	岡崎文化協会結成后	岡崎文化協会改組后
1057		10	情熱が	熱情が
1057		17	演劇講演会	演劇講習会
1057		24	文芸作品公募	文芸作品展公募
1057		25	市民俳句及吟行会	市民俳句吟行会
1057		25	写真展作品公募集	写真展作品公募
1065		22	開市150年	開市450年

新編岡崎市史 正誤表

第12巻 民俗

頁	段	行	誤	正
まえがき (3)			昭和六二年一月	昭和六三年一月
98		6	食飲の内容は	飲食の内容は
274		7・12	斉藤嘉彦	斎藤嘉彦
504		1～2	昭和四五年	昭和二八年
525	図2-3		図2-3 大里屋	図2-3 大黒屋
633		5	『常盤東のむかし』	『常磐東のむかし』
633		13	六郷とだけし書かかれていない	六郷とだけしか書かれていない

新編岡崎市史 正誤表

第17巻 美術工芸

頁	段	行	誤	正
123	上	19	背妻戸南向ナリ	皆妻戸南向ナリ
123	下	3	畢又。	畢又。
359	上	4	意気合投合	意気投合
587	下	19	径二五.五	径二四.八

新編岡崎市史 正誤表

第18巻 建造物

頁	段	行	誤	正
口絵48			成瀬林右工門氏住宅	成瀬林右工門氏住宅
目次 12		5	八丁味噌カク久合資会社	合資会社八丁味噌
目次 17	下	8	八丁味噌カク久合資会社	合資会社八丁味噌
目次 25	上	17	八丁味噌カク久合資会社	合資会社八丁味噌
4	上	20	落付いた	落着いた
11	下	19	(室時代町)	(室町時代)
36	下	16	8 3.5(上下逆) 14.2	8 3.5 14.2
48	上	1	落ち付き	落着き
49	上	22	鳥居建て三間取り	鳥居建て三間取り(挿図12)
49	下	1	同 (挿図12)	同(口絵45)
49	下	5	紫田金花氏住宅	柴田金花氏住宅
49	下	10	柴田銀次氏住宅	柴田銀二氏住宅
53	下	1	八丁味噌「カク久合資会社本社」	合資会社八丁味噌本店
61	上	14	固ぐるしく	堅ぐるしく
62	下	10	さねびじき 実肘木	さねひじき 実肘木
65	下	8	刻銘がある。(註四)	刻銘がある。註四)
66	上	16	織細な扱い)	織細な扱い)
72	下	16	(註六)。	註六)。
97	下	18	水野堅物の寄進	水野監物の寄進
98	上	14	輪垂木 曲線の垂木)	輪垂木(曲線の垂木)
101	上	6	天正一九年に家康が	天正一八年に家康が
104	下	3	をる。	を飾る。
108	下	3	とじき 戸締まる	とじま 戸締る

132			工人棟梁 松浦一平	工人棟梁 杉浦一平
137	下	15	力士像彩色	力士像彩色
144	上	8	南郷中伊賀町字東郷中	伊賀町字東郷中・南郷中
151	上	13	前包中央に墓般をおき	前包中央に墓股をおき
153	下	14	吉良町吉田字桐杭	吉良町吉田字桐杭(木へんに元)
161		1	徳川家の土産神	徳川家の産土神
170		2	同じ頃の速築で	同じ頃の建築で
178	上	8	(図版26右中・下、	(図版26右中、
178	下	9	緒目懸魚	猪目懸魚
180	上	5	岩津・常盤地区	岩津・常磐地区
180	上	7	常盤・岩津地区	岩津・常磐地区
187	上	7	延宝四(一六七八)	延宝四(一六七六)
200		1	寛永一三(一六三七)年	寛永一三(一六三六)年
200		19	元禄七申戌年	元禄七甲戌年
209	上	7	華蔵坊(円寿坊)・(法寿坊)	華蔵坊(円寿坊・法寿坊)
210	下	18	ばちつか 中備間斗束(撥束)	ばちづか 中備間斗束(撥束)
214	上	4	うなづかせる。	うなずかせる。
234	上	16	永禄五壬戌(一六五二)	永禄五壬戌(一五六二)
234	下	5	元禄十四年辛巳九月	元禄辛巳年九月
240	下	6	建っている	建っている
240	下	11~12	大樹寺小学校	大樹寺国民学校
242	下	20	寛正二(一四一六)年	寛正二(一四六一)年
246	上		(挿図のタイトル脱)	96-1 円福寺山門上層平面図
247	下	19	妻は下見板強り	妻は下見板張り
277	下	16	内陣正面虹梁下解放	内陣正面虹梁下開放

278	上	2～3	昭和二七(一九五二)年	明治二七(一八九四)年
278	下	10	(図版54	(図版54右中・下、左下
283	挿図115		鐘樓門	鐘樓門
287	下	3	頭貫下解放。	頭貫下開放。
288	下	3	寛政一三(一八〇〇)年	寛政一三(一八〇一)年
294	下	9	その地に住って	その地に在って
296	上	12	小笠侯	小笠原侯
296	下	4	状態は分らない。	状態はわからない。
304	図版右下		(市指定文化財)	弟也斎(市指定文化財)
315	図版左下		大鼓楼	太鼓楼
317	図版右中		墓股に注意	墓股に注意)
318	説明	2	口絵6。	挿図6
320			80 …妙国寺本寺	80 …妙国寺本堂
322	下	6	出三斗々組	出三斗斗組
327	上	15	さらに六、七年経った	さらに六七年経った
331	下	8	解放とす	開放とす
333	下	7	丸彫々刻	丸彫彫刻
334	上	14	出三斗々組	出三斗斗組
344	上	17	出三斗々組	出三斗斗組
349	上	3	切妻々正面	切妻妻正面
352		註九、棟札(表)	天文廿三甲刀五月廿日	天文廿三甲子五月廿日
359		6	慶安三庚刀季	慶安三庚子季
360		註二三	正徳三(一七一三)年の棟札	正徳三(一七一二)年の棟札
362	上	15	「オクノマ」一般の名称「ヘヤ」、	「オクノマ」(一般の名称「ヘヤ」、
362	上	15	「ツギノヘヤ」・	「ツギノヘヤ」、

384	上	22	富有な家	富裕な家
388	図版左下		今井淳夫氏住宅	青山信義氏住宅
392			88 近藤口(金へんに益)郎氏住宅	88 近藤鎰郎氏住宅
394			90 蜂須賀広和氏住宅	90 蜂須賀弘和氏住宅
398	下	22	(小供部屋)	(子供部屋)
407	下	7	明治一七(一八九四)年	明治二七(一八九四)年
407	下	8	明治三一(一九〇八)	明治三一(一八九八)
438	説明	1	元代官をつとめたという	元大庄屋をつとめたという
444	下	7	(口絵48図版102	(口絵48、図版102
448	上	3	大正一二(一九一三)年	大正一二(一九二三)年
455	上	13	側廻り柱へも(横向き)	側廻り柱へも
456	下	16	周囲を取り囲む、屋根の	周囲を取り囲む。屋根の
459	下	1	アルミサッシ	アルミサッシュ
460	上	6	り。東妻の	る。東妻の
460	上	14	業会の先行き	業界の先行き
461	上	6	四週に雨樋	四周に雨樋
461	上	17	六〇センチメートル	六〇センチメートル
463	上	13	ペヂメント	ペジメント
468	下	3~4	図版116・117、	図版115・116、
469	下	5	エンターブラチャー	エンタブラチュアー
469	下	9	エンターブラチャー	エンタブラチュアー
469	下	11	ペヂメント	ペジメント
471	下	21	大正三年(一九一四)	大正四年(一九一五)
471	下	22	同六年四月	同六年三月
472	挿図230		専務理事	専務理事室

489	下	2	名古屋高等工業に	名古屋高等工業学校に
489	下	12	半田の中野家	半田の中埜家
490	上	5	大正三年	翌大正四年
490	下	5	バンドコース	バンド・コース
490	下	11～12	エンタ・ブラチパューアー	エンタブラチュアー
490	下	17	バンドコース	バンド・コース
491	下	13	サッシュェ枠	サッシュュ枠
491	下	19	大正三年(一九一四)	大正四年(一九一五)
492	上	12	かくきゅう 八丁味噌カク久合資会社本店	合資会社八丁味噌本店
492	下	1	太田弥治右衛門家	大田弥治右衛門家
493	挿図231		231 八丁味噌カク久合資会社本店平面図	231 合資会社八丁味噌本店平面図
494	挿図232		第1診察室	第1診察室
496	下	19～20	ペヂメント	ペジメント
498	下	13	パーティ会場	パーティー会場
501	挿図236		こずかい室	こづかい室
503	上	16	スチールサッシ	スチールサッシュュ
504	下	6～7	スチールサッシ	スチールサッシュュ
505			121 八丁味噌カク久合資会社本店	121 合資会社八丁味噌本店
508			124 旧岡崎町立高等女学校	124 旧岡崎市立高等女学校
515	下	14	彫りはない、北室の	彫りはない。北室の
517	上	2～3	エンターブラチャー	エンタブラチュアー
517	上	10～11	ペヂメント	ペジメント
519	下	22	柱例が造ら	柱列が造ら
520	上	9	(図版3右中、	(図版3右下、
521	下	20	(口絵3、5、	(口絵3・5、

522	下	1	尾根の棟に	屋根の棟に
522	下	24	(口絵41下)。	(口絵41)。
523	上	4	(図版56左上、77左下)	(図版56左上)
523	下	4	蓮の花を逆にし	蓮の花を逆にした。
528	下	14	(図17右中、	(図版17右中、
529	上	11	67左上・下)	67左上・下)。
529	下	8	横木同志	横木同士
531	上	18	(挿図9の4	(挿図10の4
531	下	14	(285頁参照)	(365頁参照)
534	上	18	124右下)。	124左下)。
536	下	14	(図69左下	(図版69左下

新編岡崎市史 正誤表

第20巻 総集編

頁	段	行	誤	正
64	左	6	大平一里塚 永井弥右衛門白元	永井弥右衛門白元
73	左	6	岡崎市医師会 明治13年(1880)	明治11年(1878)
73	左	7	岡崎市医師会 同43年	大正5年
73	左	13	岡崎市医師会 同34年	同44年
73	右	5	岡崎市歌 兼ねて	兼ねても
116	左	25	小柳津要人 岡崎町立図書館	岡崎市立図書館
166	右	7	近藤孝太郎 一ツ橋大学	一橋大学
184	左	3	柴田顕正 同23年	同26年
184	左	6	柴田顕正 同38年	同34年
184	左	12	柴田顕正 初代	第二代
184	右	1～2	柴田顕光 明治初年	大正初年
184	右	17	柴田顕光 祖父久明	父久明
202	右	1	真福寺慈恵大師坐像 しんぷくじじけいだいしぎぞう	しんぷくじじえだいしぎぞう
206	左	5～6	随念寺 大正12年(1923)	大正11年(1922)
230	左	26	滝山寺 青蓮院	青竜院
237	右	27	田中吉政 柳川市真光寺	柳川市真勝寺
288	右	7	額田郡時報 手島喜三郎	手島喜代三郎
300	左	2	橋本増治郎 ダットサン	ダット号(脱兎号)
300	左	6～7	橋本増治郎 明治24年(1891)東京蔵前東京工学	明治25年(1892)東京工業学校
300	左	9	橋本増治郎 快進社自動車工場	快進社自働車工場
300	左	10	橋本増治郎 「ダットサン」	「ダット号(脱兎号)」
300	右	1～2	橋本増治郎 日本で最初の…「ダットサン41型」	大正8年日本で最初の…「ダット41型」
300	右	2	橋本増治郎 昭和4年(1929)	昭和6年(1931)

488	1922(大正 11)5-1	(竣工は12月25日、工費は7万3904 円、	(竣工は12月15日、工費は7万3635 円、
507	1962(昭和 37)	12-4	12-11
615	13.名誉市民一覧 柴田顕正経歴	初代館長	第二代館長